

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

<b>事業名</b>	市場開放問題苦情処理の推進に必要な経費		<b>担当部局庁</b>	政策統括官(経済社会システム担当)		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和56年度		<b>担当課室</b>	規制・制度改革担当事務局		参事官 高島 竜祐		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5-⑦ 市場開放問題に係る苦情処理を通じた市場アクセスの改善				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>			<b>関係する計画、通知等</b>	昭和57年1月30日経済対策閣僚会議決定、平成6年2月1日閣議決定				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	対日直接投資の手続、サービス、政府調達分野等を含む市場アクセスの改善を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	市場開放問題に関連を有する事業を扱う各省庁が窓口機関として、主に海外企業からの輸入手続き等を含む我が国市場開放についての諸問題(輸入手続の円滑化等)に関する具体的な苦情受付・処理等業務を実施。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	7	7	0.4	0.4	0.3	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	7	7	0.4	0.4	0.3	
	執行額	0	0	0				
執行率(%)	0	0	0					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	事業発足(昭和56年度)から現在までの事案解決率(99.85%(延べ))		成果実績	%	99.85	99.85	99.85	99.85
			達成度	%	n/a	n/a	n/a	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	扱い件数:0件(平成19年度以降、事案の持ち込み、解決実績とも無いため。)		活動実績 (当初見込み)	件	0	0	0	—
						( 7 )	( 7 )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	庁費	0.4	0.3					
	計	0.4	0.3					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		外国企業等からの苦情申出に備え、必要最低限の経費（通訳雇い上げ）のみ計上。	
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		執行実績がない(0%)状況が続いていることから、他の事業との統合による予算の効率化も含め、事業の抜本的見直しを図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
引き続き苦情申出が全くない現状で事業の在り方を検討した上で、今後外国企業等から苦情申出がなされる可能性も踏まえつつ、概算要求については、必要最低限の経費(通訳雇い上げ経費)のみとし、平成23年度よりも減額して行っている。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

平成22年度の予算使用実績なし。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					